

## 協働事業の提案 一覧

- ・ この一覧は、協働事業提案 26 件について受付順に整理したものです。
- ・ 公開プレゼンテーション実施にあたり、事前に辞退の連絡があった提案 3 件については、その内容を削除してあります。
- ・ 公開プレゼンテーション不参加の連絡があった提案 6 件については、そのまま記載してあります。

受付番号	発表順	提案事業名（受付順）	目的	内容	提案者 事業参加者（敬称略）
1 5/6	H	「シックハウス症候群」「シックスクール症候群」の予防に関する身体障害者の自立と雇用の創出 <窓口>	新時代における環境および健康等の問題の改善活動をとおして地域及び社会全体の利益に寄与する	(1)「住環境の問題改善」に関する普及活動 (2)「健康増進」に関する普及活動 (3)「子どもの健全育成」に関する普及活動 (4)「職業能力の開発及び雇用を創出」するための支援活動	NPO 法人 IHTB( 認証申請中) 設立代表者 早川成昭
2	辞退				
3	辞退				
4 5/9	P	下水汚泥を再利用した製品開発 <郵便>	下水汚泥を再利用した特徴ある製品開発を行い、収益性のある事業に育てること	汚泥焼却灰を原料にして製造可能な製品を検討し、実験室的な器具により試作する	間瀬富隆
5 5/13	不参加	書写能力の普及及び向上 <窓口>	小、中学生の国語（毛筆習字、硬筆）の向上、促進に役立ちたい	案：学校の習字の授業時間に参加し、担当の先生の指示に従い、子供たちの筆の使い方などについて教える。（先生の部分的補助者） 案：各地区子供会協賛主催などによる習字会。2回 / 月程度	昆野和郎 （生涯学習センター文化会）
6	辞退				
7 5/21	F	やまと 太陽光発電設備設置プロジェクト <メール>	自然エネルギー利用の市民・事業者への啓発	市民・事業者が事業の企画・基金の募集を中心的に行い、市役所玄関屋根の上に太陽光発電パネル、インバーター、発電量表示機等を設置し、電動自転車等の「充電」を行う施設を建設する。設置後、設備は大和市に寄付する。	やまとエコデザイン 会議 宇津木朋子

## 協働事業の提案 一覧

受付 番号	発表 順	提案事業名（受付順）	目的	内容	提案者 事業参加者 （敬称略）
8 5/22	E	子育て家庭サポート事業 <メール>	子育て中の家庭に対する育児支援等を、行政とNPOが協働して行うことにより、安心して子どもを育てられる環境をつくる。	(1) 市内の公的な保育施設や児童ホームの開設時間や制度が利用者のニーズにマッチしていないことを補完する事業。 (2) 子育て中の家庭の精神的、肉体的な負担を軽減するための支援事業。	NPO法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア 永井圭子
9 5/22	L	遊休農地の活用について <メール>	遊休農地の活用により、市民に安全で新鮮な農産物を提供するとともに、小中学生などの自然教育や農業体験の場として利用する	市内に散在している遊休農地を、市が仲介して持ち主の農家から企業やNPOなどに安価〔固定資産税相当額〕で貸し出し農業生産に使用したり、市民農園などとして利用することで、農地の機能の回復を図る	山口昭三
10 5/23	不参加	私道の市有道路化 <郵便>	私道の市有道路化により、市民生活の向上を図る	円滑な行政指導のもとで、道路の拡幅、交差点の隅切り整備を進める	山田進（つきみ野気功サークル つきみ野練功クラブ）
11 5/23	不参加	学習センター等の施設利用申し込みの改善 <郵便>	サークル活動を円滑に進める	抽選予約の一部を話し合いとし施設職員の仲介により利用者間の調整をする	同上
12 5/26	K	青少年の自立支援協働事業 <窓口>	青少年自身の就労や主体的な求職活動を、キャリアカウンセリング、職業情報、能力開発などの支援サービスの提供によりサポートし、安定的就労の実現を通じより良いコミュニティ創りに貢献する。	専門家によるカウンセリングと参加者同士のピアカウンセリングを組み合わせたワークショップ型研修を通じ、就職活動ノウハウのみならず一人ひとりのビジョン創りを支援。ビジョン創りにおいては、体験学習を基幹として、自分の振り返りを行いながら仲間づくりと地域社会への参画意識を醸成。その中で併せてコミュニケーション能力やビジネスマナーなどのレベルアップを図る。	NPO 法人かながわ就職支援研修センター 内田哲世
13 5/28	Q	生涯学習センターホール、リフォーム検討プロジェクト（仮称） <メール>	生涯学習センターホールを音楽ホールとして現状よりグレードアップすることを市民参加で検討し、具体案を立案答申する。	市民の中から専門家（建築設計・音響・プロ&アマ音楽家・その他有識者）を公募し、様々な計画を検討し費用対効果を含めた複数の実現可能な案を提案する。	与田晃一

## 協働事業の提案 一覧

受付番号	発表順	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 事業参加者 (敬称略)
14 5/30	O	移動制約者の外出介助サービス事業 <メール>	この3年、市の協働パイロット事業により支援を受けてきた。市民活動条例が施行されたことにより、当団体の活動を市との協働事業と位置づけ、市民の多様化する移動ニーズに対応していきたい。	当団体:市民ニーズにもとづく標記事業の実施と政策の提案。事業内容の公開。 大和市:1) 財政負担 年間40万円 2) 情報の提供 3) 車両やストレッチャー等の保管場所の提供 4) 拠点となる事務所スペースや会議室等の提供 5) 移動制約者と送迎 NPO の環境整備に関する政策の立案 6) その他必要な支援	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブケアびーくる 代表 河崎 民子
15 5/30	C	市内の自転車シェアリング推進のための調査研究・試験運用事業 <メール>	放置自転車対策、地球温暖化防止のための自転車交通の促進	Step1: 調査研究事業: 国内外の先進事例を調査し、大和市の現状に即した自転車利用のあり方を市民・事業者が協力し構築する事業。 Step2: 上記事業提案の実施。	NPO 法人 かながわ環境教育研究会 代表 渡辺敦
16 5/30	B	新渋谷中学校 地域交流館の新しい公共づくりに基づく企画運営事業 <メール>	新渋谷中学校 地域交流館の機能の充実	Step1: 市民と共に行う地域交流館の機能・ソフト企画、運営方法の検討事業(平成15年度) Step2: パートナーシップによる地域交流館の開設準備事業(平成15年度) Step3: 地域交流館の運営事業	NPO 法人 かながわ環境教育研究会 代表 渡辺敦
17 5/30	J	仮称 “マインドケア” ホールディング”セラピー、カウンセリング等による相談事業 <窓口>	児童虐待、DV、不登校、ひきこもり、自殺等心の病は確実に増えている。大和市からマインドケア発展途上国の道を開きたい	行政の相談室へ行くのが躊躇われる時、専門家ではないが訓練を受けたあるいはケアマインドを持った市民が相談を受け傾聴する。 市の役割: 財政負担 情報の提供 拠点となる事務所スペースや会議室の提供	植村美智子 他立上げ呼びかけ人 3名

## 協働事業の提案 一覧

受付番号	発表順	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 事業参加者 (敬称略)
18 5/30	N	人工透析患者ならびに身体障害者、高齢者の通院・外出支援サービス事業 <FAX>	福祉という公共性の高い活動を、行政と市民活動で協働し推進する	人工透析患者の高齢化および週3回の通院の「足」確保は、「生命」と引換えの問題であり、ボランティアな移送サービスを継続して実施する。また、透析患者に限らず、広く身体障害者、高齢者の外出支援をする移送サービスを実施することにより、福祉の推進、創造的な活動を促進し、「共に担う公共」を実現する。	NPO 法人 大和市腎友会 執行役員 森英志
19 5/30	不参加	特定非営利活動法人 WE21 ジャパン大和 <窓口>	リユース・リサイクルショップをボランティアを中心に運営し、その収益を民衆支援活動に充てているが、平和の構築とリユース・リサイクルの視点での協働を担いたい	1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業 2. アジアの市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 3. 地球市民の国際的な問題意識の向上を図る事業 4. WE21 ジャパン大和を広めるための情報発信	NPO 法人 WE21 ジャパン大和 代表 大上文
20 5/30	不参加	市民保有の古民具や歴史的財産の活用 <FAX>	古民具等の飛散や廃棄等を防止して、小学生等に郷土の歴史を楽しく理解することに活用する	市民が保有しているかつて使用していた生活の道具や器具、農具等を寄贈若しくは借用して、小学生の空き教室に保存する。又、市内の小学校に巡回して展示する。	ボーイスカウト大和 第4団 関水直行
21 5/30	不参加	休耕田を活用した花畑 <FAX>	週休5日制を有効に活用し、子供達と花畑を作る。	市内の農家が所有している休耕田を借用して子供達と耕し、花の苗を育て花畑を作り花まつり等楽しい1日をみんなでつくる。	ボーイスカウト大和 第4団 関水直行
22 5/30	A	土地区画整理事業等における遊休地を利用した景観美化 <メール>	コミュニティガーデンの理念を採り入れた都市空間(土地区画整理事業等における遊休地)の景観美化 地域通貨「ラブ」の活用推進	土地区画整理事務所等保有の管理地を市内のNPO法人(例:ラブサポートセンター)などが代表窓口として借り受け、これを数区画に区分し、ガーデニングを希望する団体または個人に対して貸し出すものとする。行政機関の管理地で、かつ、遊休地であることから、土地の貸借に必要な費用は、地域通貨「ラブ」で決済する。	NPO法人ラブサポートセンター 担当 百瀬博文

## 協働事業の提案 一覧

受付 番号	発表 順	提案事業名（受付順）	目的	内容	提案者 事業参加者 （敬称略）
23 5/31	G	ミニデイサービス事業 （介護予防兼健康増進型） <メール>	予防型、健康増進型のデイサービス事業で、地域住民としてお互いに毎日を元気に楽しく暮らしていくための地域交流型デイサービス。	(1) 介護が必要となる前の予防型のデイサービス事業 (2) 比較のお元気な高齢者向けの健康増進型デイサービス事業 (3) 前記に参加される方々の合同イベントとして開催するデイサービス事業	木下 麻里江 NPO 法人 シニアネットワークさがみ
24 5/31	M	健康増進・見守り型配食サービス事業 <メール>	自分達の地域で急速に進む高齢化の中で、健康でいきいきと快適な生活を送ることの一助として配食サービスを行っている。	(1) 健康増進に配慮した（食生活を考えるきっかけをつくる）お弁当の調理 (2) 配食を通じての見守り活動	宮下 稚子 NPO 法人 シニアネットワークさがみ
25 5/31	D	思春期・青年期の青少年たちが主体的に管理運営する「こどもの館」（仮称）づくり事業 <メール>	青少年がいつでも好きな時に行き、そこに集う青少年たち自身の手で自主運営する「こどもの館」（仮称）づくりを3年間かけて準備し実現することを提案する。	現在大和市には、青少年が自主運営する居場所がない中で自由に活用できる「こどもの館」（仮称）をつくる。 建物や設備の設置、管理、維持は行政が担い、運営はそこに集う青少年たちやボランティアが話し合いを通してルールなどを決め自主運営する。	市民団体「共育ちプラザ・まんまの自分」 暫定代表 岡島順子
26 5/31	I	障害児者に対する地域生活支援事業 <窓口>	地域に居住する障害児者が地域で快適に安心して生活ができることを目的とし、その環境づくりをしていく。	(1) 自立生活援助事業 (2) ヘルプサービス事業 (3) 余暇活動支援事業	NPO 法人アシストやまと